

# 第46号芝雄について

2014年2月8日

# 今回の“結果”

- 発送時期の大幅な遅延

＜当初の予定＞ 2013年8～9月ごろ

＜実際の時期＞ 2014年1月13日ごろ

- 影響

1. 発送が遅れ、関係者に多大な迷惑をかけた
2. 加えて、年会費収入が減った(去年は周年事業もあったが)

# 遅延の原因

- 担当者の不足
  - 原稿をお願いしていたスタッフの2名が途中消失
  - ネタの消失による台割変更も発生
- 仕事量に対する時間不足
  - ネタ出し、執筆、編集、デザインをすべて対応
  - 結果、進行管理がおろそかになる
- テキストに対する質の維持
  - 要素の不足や言い回しの統一など、  
一定のクオリティを保つのに時間がかかった

# 第47号への対処 1

## 担当者の不足

→ 部に関係なく、広く取材担当を募集する

→ 外部執筆者を増やす

(広告コーナーや同期会コーナーに加え

現役へのOB訪問など)

おもに30～40代の層にお願いしたい

## 第47号への対処 2

### 仕事量に対する時間不足

現在の部長担当を、  
デザイン、編集権限に限定する。

進行管理、執筆、校正は必ず別の人が担当  
→実際、校正は現状総務部長が実行

# 第47号への対処 3

## テキストに対する質の維持

具体的には、

「要素不足」「文量不足」「表現力不足」

(1回目)締め切り後の“差し戻し”も  
予定したスケジュールづくりが必要

# ソーシャル強化週間の成果

- 実際にURLをクリックした人は少ない
- すなわち、今回の施策が直接的に年会費の収集率向上につながったとは言えない
- ただし、Facebookページの投稿閲覧数は通常より多かった(とくに豊洲移設ネタ)

**広報的な意味では今後も続けていくべき**

# 広報部の仕組みを変える

芝雄の制作形態同様、  
ワンマンの体制から各担当制へ

100周年に向けて  
さまざまな施策を実施していきたい

**広報部All Staff Meetingを総会前に開催**



# まとめ

- 芝雄は分業制へ移行し、リスク分散
- 広報部としてソーシャル活動により力を
- **100**周年に向けた新しいアイデア創出